

インゲン品種「ライトグリーン」の特性

農業研究センター 天草農業研究所

研究のねらい

インゲンの栽培は、天草地域を中心に行われ、増加の傾向にある。品種としては、多収でさやの曲がり少なく上物率の高いものが望まれている。

このため、ハウス抑制及び無加温半促成インゲンについて、おい性、丸さや、濃緑で、子実部分の膨らみが小さく、10～12cm程度で収穫できることを条件に検討した結果「ライトグリーン」を選定し、その品種特性を明らかにした。

研究の成果

1. 「ライトグリーン」の特性

- (1) 対照品種の「アーロン」と同程度の中生種で、生育も草丈が高く葉が大きく、「アーロン」と同様に草勢は強い。
- (2) さやの色は「アーロン」に比べやや淡く、太さはやや細い。収穫後のさやのしおれは遅い方である。
- (3) さやの曲がり少なく上物率が高い。このため、選別・調整労力の軽減が図られる。
- (4) 抑制、半促成とも収量が多い。特に、抑制栽培では、市場価格が上昇する収穫後期の12月中下旬まで収量が多い。また、半促成栽培では、5月上旬と6月中下旬に収量のピークがある。

2. 栽培上の留意点

栽培は「アーロン」に準じる。

半促成栽培では収穫期間が3ヶ月以上と長いので、草勢を低下させないように、収穫開始後は追肥、灌水、こまめな摘葉により草勢を維持する。

3. 普及地域 県下全域

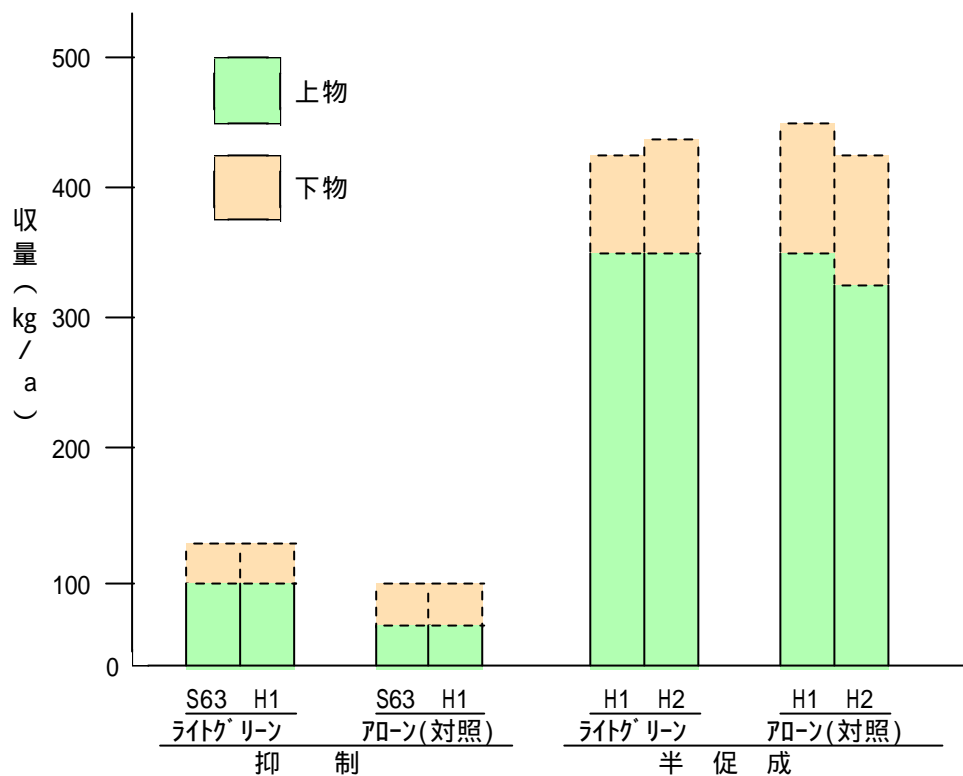


図 品質別収量比較

表 品種の特性と評価

品種	さやの形状			評 価					
	長さ	色	子実部の膨らみ	さやの形状	収穫後のしおれ	収 量 性		総 合 評 価	
						抑制	半促成	抑制	半促成
アロン	中	緑	小			×		×	
ライトグリーン	中	緑	小						
ラ・フォーレ	中～長	淡緑	小						
コメスタ	長	淡緑	無	×	×			×	×
リッチグリーン	中	濃緑	中		×		×		×
ミール	中～長	緑	無			×		×	
ストライナー	長	淡緑	無	×	×			×	×
サーベル	中～長	緑	大	×	×		-	×	・
イズビック	中	緑	大	×	×	×	-	×	・
レインボー	中	緑	中			×	-	×	・
グリーン・ラーレ	中	濃緑	大	×	×	×	×	×	×
F - 21	中	緑	小			×		×	
B - 6	短	緑	無	×				×	×
ネリナ	中	緑	中			×		×	
サヤカ	中	濃緑	中			×	×	×	×
リンダ	中～長	緑	無			-		-	